

通る君の導入手引き

1. 通る君の必要数

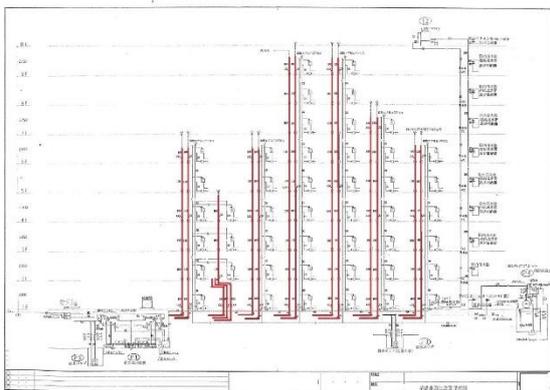
- 1) 1フロア（1階若しくは2階（1階にエントランスホールがある場合））の最大何世帯数を確認します。
- 2) 管路確認用：1 + 本番：1 + 予備（余震）：1 = 3
- 3) 初期導入数 フロア世帯数（1） x 3個

例 1フロアに7世帯の場合、 $7 \times 3 = 21$

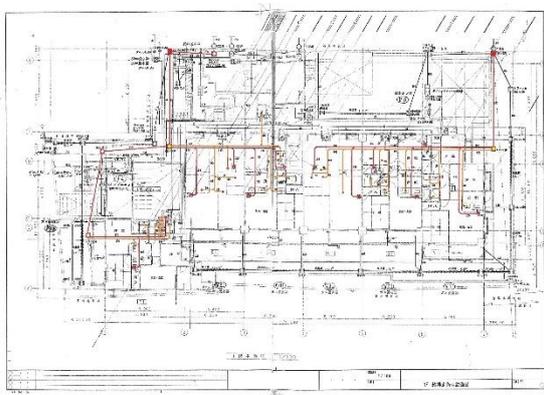
2. 確認場所の設定（対象トイレから汚水桝）

- 1) 竣工図より汚水桝とトイレ汚水管の経路図を参考に現場確認をします。

a) 縦管の確認・・・図面名：給排水衛生設備系統図（下記は参考図です）



b) トイレから排水桝の確認・・・図面名：1F 給排水衛生設備図（下記は参考図です）



c) 建物がエントランスホールの上が住居の場合や住居がひな壇の場合、一部がメゾネットの場合等では、複数のページで構成されている。

3. 事前テスト（実際に流して、図面通りかの検証と、有事の損傷判断する為の流下所要時間を測定する）

- 1) トイレと該当桝にて連絡を取って、「大」で流してから汚水桝にたどり着くまでの時間を測定する。
注) 大で流した時、便器の落とし込みの水がなくなる場合、図面上で確認する排水桝までの距離が長い場合（約20メートル）は、バケツで追い水をする。（8～10リットルを2杯）

4. 検査の判定

粉体色の水と球体を確認できればトイレ使用に耐えうるとして判断できる

万が一、予定時間（事前テスト測定値）の3倍を目安に確認できない場合は、問題ありと判定します。